

福知山産お茶の知名度向上プロジェクト

#お茶
#福知山
#給水スポット

DATA

主な連携先・メンバー

福知山公立大学地域経営学部 谷口知弘研究室／京都府中丹広域振興局

活動地域

京都府福知山市

活動期間

2024年5月～2025年3月

活動資金

地域連携活動に対する補助事業



福知山産のお茶を扱っている店での撮影

目的

福知山産のお茶の知名度を高め、地域の魅力向上につなげる。また、給水スポットの横で福知山産のお茶を使用した水出しティーパックを販売することを提案し、環境保護にも寄与すること。

活動内容

2024年

5月～7月 日本におけるお茶の消費動向や特徴を把握するための資料収集・分析。また、福知山公立大学の谷口知弘先生、日本茶インストラクターの赤井貴恵氏、山城屋茶舗の豊島永子氏とZoom会議を行い、福知山産のお茶の販売に関する現状を把握。

8月 福知山現地調査と取材。

9月～10月 福知山産のお茶関連スポットを掲載したチラシと知名度をPRするポスターを作成。

連携にいたる経緯

劉ゼミではこれまで、地域活性化と魅力発信に焦点を当てた数多くのプロジェクトを実施してきた。この経験を踏まえ、福知山市出身の学生が地元の魅力を発信する新たな取組みを提案したことがきっかけ。

11月 あやべ・日東精工アリーナで開催された「中丹 OCHA EXPO」に出展し、給水スポット向けの水出しティーパックのニーズを調査。

12月 撮影したPR動画の編集とウェブサイトの構築。

2025年

1月～3月 福知山産のお茶関連スポットを掲載したチラシとポスター、ウェブサイトが完成。チラシとポスターを各施設に配架。

福知山公立大学地域経営学部
谷口知弘先生へインタビュー



福知山のお茶関連スポット
の紹介ポスターとウェブサイト



「中丹 OCHA EXPO」
での出展ブース



活動の成果

- ≫ 福知山産のお茶の魅力を地域内外の方々に発信することができた。
- ≫ 環境負荷の軽減につながる給水スポット向けの水出しティーパック販売の提案を新たに行うことができた。
- ≫ 活動に関わった学生たちの取材力、コミュニケーション力、情報発信力が向上した。

連携先からの一言

ふるさとの埋もれし特産品「お茶」に価値を見出し、ゼミ活で取り組みたいとの熱い想い。そして、その情熱とチーム力が地域の関係者の心を動かし、専門家に事業者、京都府を巻き込んだコラボに結びついたと思います。感服です。

(福知山公立大学教授 谷口知弘氏)

今後の課題・目標・展開の可能性

- ≫ 2025年に開催される「きょうとまるごとお茶の博覧会」(京都府中丹広域振興局)に出展する。
- ≫ 山城屋茶舗とコラボしたパッケージのデザイン、給水スポット向けの水出しティーパックを考案する。

社会学部 教授 劉 雪雁 Liu Xueyan



専門分野は国際メディア論。近年、訪日外国人観光客と地域活性化の関係について調査研究を行っている。

劉ゼミホームページ→

